



わたしたちの

長浜海岸ビーチクリーン



Sustainable(サステナブル:持続可能な) Development(ディベロップメント:開発) Goals(ゴールズ:目標) SDGs(持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

7月15日に長浜海岸で海岸清掃活動を実施しました。今回の活動は、SDGsの目標「海の豊かさを守ろう」に基づく取り組みとして、石巻圏域SDGsパートナーの一般社団法人石巻海さくら様と連携して実施しました。

☎ SDGs移住定住推進課(内線4224)



小雨が降る中でしたが、企業や団体から約130人が参加しました。清掃は3時間行い、ビニール紐やプラスチックの破片などゴミ袋60袋以上になったほか、タイヤや碇などの大きなゴミも回収することができました。また、参加者同士の交流もあり、楽しみつつ、心地よい汗を流しながらの清掃活動となりました。



















包括連携協定の取り組みを紹介しす

市では、地域が抱える課題解決や、市民サービスの向上などを目的に、幅広い分野において、民間企業や大学、団体などと包括連携協定を締結しています。令和6年8月末時点で、29者と協定を締結し、今後も連携を広めていきます。ここでは、協定に基づく取り組みの一部を紹介しす。

明治安田生命保険相互会社

締結日:令和3年11月25日

相互扶助の精神に基づき、健康増進事業の推進、地域の見守り活動や祭事への支援、地域産業の振興支援など、地域に根差した活動を行っています。

<主な取り組み>

各種講座への講師派遣

高齢者教室「ゆうゆう大学」(河北公民館)

- ・「相続と争族のはなし」
- ・「睡眠と健康」
- ・「健康長寿の秘訣」

高齢者教室「河南つくも大学」(河南公民館)

- ・「あなたは大丈夫?フレイル予防教室」





▲高齢者教室「ゆうゆう大学」



▲高齢者教室「河南つくも大学」

現在の包括連携協定の締結状況は、市ホームページをご覧ください。

☎ 政策企画課(内線4215)



市ホームページ



写真上:鈴木家住宅板倉



写真右:旧佐々木家住宅板倉

(文化財) たんぽう

127

国登録有形文化財
旧佐々木家住宅板倉・旧鈴木家住宅板倉

登録有形文化財(建造物)とは、建築後50年が経過した建造物のうち、一定の評価を得た文化財です。

3月、北上町十三浜に所在する「旧佐々木家住宅板倉」と「旧鈴木家住宅板倉」が、近代北上川下流域における農村生活と、建築を手がけた気仙大工の技術を後世に伝えるものとして、国登録有形文化財に正式登録されました。

北上川の改修と湿地干拓により、耕作面積が飛躍的に増えた近世・近代に建設された板倉は、穀物類の保存施設として利用されていました。出入口に取り付けられた庇(ひさし)と呼ばれる小さな屋根や換気用の小窓には、非常に装飾的な彫物が施されており、気仙大工の技術の高さを垣間見ることが出来ます。また、板倉が移築を繰り返した代々引き継がれてきたことにより、柱が密に配置されている点、屋根に天然のスレート瓦が葺かれている点は、近代の当地域における板倉の特徴を現代に伝えていきます。

今回登録を受けた2棟の板倉は、現在飲食店として利用されています。石巻の歴史・文化を未来へ伝える建物として、多くの方が足を運ぶ場所となつてほしいです。

☎ 生涯学習課(内線5056)